

滋賀県立総合病院広報誌

FACE

第10号

2022.12

安全・安心な医療を
提供するために





医療安全小委員会

To Err is Human 「人は誰でも間違える」 安全な医療に職員全体で努めていく



ICUの看護師と

自己紹介

京都の北野天満宮の近くで生まれ育ちました。京都御所から二条城、金閣寺から仁和寺付近が子供のころの遊び場でした。他に遊ぶ場所もなく、自転車で近くのお寺や神社を駆け回るのが日常でした。今や世界遺産に登録され、世界中から観光客が押し寄せていますが、本当にのどかな時代でした。高校時代、近くのお寺の中にある小さな塾に通ったことで医学部に入学できました。大学卒業後は胸部外科医を志し、卒後2年目で当院の心臓血管外科・呼吸器外科に赴任しました。当時、心臓、大血管、肺の手術のみならず、麻酔科研修、外科研修もさせていただき、外科医の基礎を学ばせていただきました。大学院終了後、再び当院に赴任し、心臓血管外科勤務、また2017年より医療安全を担当しています。すでに30年以上、滋賀県に住み、人生の半分以上を滋賀で過ごしています。



【経歴】

勝山 和彦 (かつやま かずひこ)

- 1988年 滋賀医科大学医学部医学科卒業
滋賀医科大学第二外科入局
- 1989年 滋賀県立成人病センター(現総合病院)
心臓血管外科・呼吸器外科
- 1994年 滋賀医科大学第二外科
- 1995年 滋賀医科大学大学院医学研究科博士課程入学
- 1999年 滋賀県立成人病センター(現総合病院)
心臓血管外科
- 2017年 同センター医療安全管理室長